

2023年10月のてがたんは申し込み制にて実施しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回11月のてがたんは11月11日(土)で、テーマは「『コケ』と名のつく生きもの」です。ぜひご参加ください。11月1日(水)から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は10月28日(土)です。

## 10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→けやき広場→旧水生植物園→市民農園前→旧水生植物園
- 観察日時と天気：2023年10月14日(土) 10:00~12:00 晴
- 参加人数：5名(大人4名、中学生以下1名)
- 市民スタッフ：6名(石原直子・伊東茂子・北村章子・小泉伸夫・弘實さと子・湯瀬一栄)
- 博物館友の会：1名(古澤紀元) ●鳥博職員：1名(小田谷嘉弥)

## 観察した生き物の記録

「\*」は、下見だけで見られたもの。

### 【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：ヒドリガモ\*、カルガモ、オナガガモ\*、シマアジ\*、コガモ、ホシハジロ\*/カイツブリ科：カイツブリ\*/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ/クイナ科：ヒクイナ(声)、バン/チドリ目：クサシギ(声)/ミサゴ科：ミサゴ/タカ科：トビ、ノスリ\*/カワセミ科：カワセミ/モズ科：モズ/カラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス(声)/メジロ科：メジロ/セッカ科：セッカ(声)/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：シメ(声)/ホオジロ科：ホオジロ\*  
家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

### 【両生爬虫類】

ミシシippアカミミガメ、アオダイショウ(死)、ヤマカガシ

### 【昆虫】

チョウ目：ヤマトシジミ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ウラナシジミ、ウラギンシジミ、ムラサキシジミ、モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、ツマグロヒョウモン、ヒメアカタテハ、キタテハ、ナミアゲハ、ヒメジャノメ、チャバネセセリ、ホシホウジャク、オオスカシバ、コスズメ(幼虫)、ウチスズメ(幼虫)/トンボ目：ウスバキトンボ、シオカラトンボ、アキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボ、アオモンイトトンボ/バッタ目：ツチイナゴ、コバネイナゴ、ハネナガイナゴ、オンバッタ、ショウリョウバッタ、エンマコオロギ、ツツレサセコオロギ(声)、ハラオカメコオロギ(声)、タンボコオロギ(声)、マダラスズ(声)、シバズ(声)、クサヒバリ(声)、キンヒバリ(声)、ウスイロササキリ/カマキリ目：ハラビロカマキリ/コウチュウ目：クロウリハムシ、ナナホシテントウ、マメハンミョウ、アトボシアオグミムシ/カメムシ目：キマダラカメムシ、ホソハリカメムシ、ムラサキシラホシカメムシ/ハチ目：オオスズメバチ、マルハナバチ、ドロバチのなかま、ツチバチのなかま/ハエ目：ギンバエのなかま、カマバエのなかま

### 【陸産貝類】

ミスジマイマイ、ウスカワマイマイ

### 【花・実】

草の花 イネ科：ヌカキビ、オヒシバ、メヒシバ、エノコログサ、スズメノヒエ、チカラシバ、カゼクサ/カヤツリグサ科：ヤマイ/アゼナ科：ウリクサ/アカネ科：フタバムグラ/タデ科：ツルドクダミ、ヤブタデ、イヌタデ、オオイヌタデ、オオケタデ、ボントクタデ、ヤナギタデ、ミゾソバ/アサ科：カナムグラ/キク科：セイタカアワダチソウ、アキノノゲシ、ブタナ、アメリカセンダングサ、コセンダングサ、アメリカカタカサブロウ、ハキダメギク、セイヨウタンポポ/マメ科：シロツメクサ、クサネム/イラクサ科：カラムシ/シソ科：ヒメジソ/アカバナ科：ヒレタゴボウ、アカバナユウゲショウ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/ツユクサ科：イボクサ、ツユクサ/サギゴケ科：トキワハゼ/ヒユ科：イヌビユ、イノコズチ/カタバミ科：カタバミ、アカカタバミ、オッタチカタバミ/ブドウ科：ヤブガラシ/アブラナ科：イヌガラシ、スカシタゴボウ  
木の花 モクセイ科：キンモクセイ  
草の実 イネ科：キンエノコロ、コブナグサ/ウリ科：カラスウリ/タデ科：イシミカワ/アカネ科：ヘクソカズラ/マメ科：ツルマメ、クサネム  
木の実 アサ科：ムクノキ、エノキ/クスノキ科：シロダモ/バラ科：トキワサンザシ/ツツラフジ科：アオツツラフジ

# 10月の観察アルバム



今回のテーマは「空を見上げてみよう」でした。好天に恵まれ、いつもより少し多めに空を見上げながら歩きました。ヒヨドリやメジロの渡り、モズの高鳴きなどのこの時期ならではの鳥の行動や、産卵の為に戻ってきて田んぼの周りを飛び回るアキアカネを観察できました。



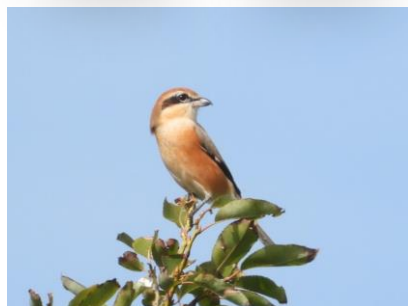
今月の案内人  
弘竇さと子・小泉伸夫



①腹の先端に突起のあるウチスズメの幼虫



②草刈り機に巻き込まれた? 大きなアオダイショウの死体



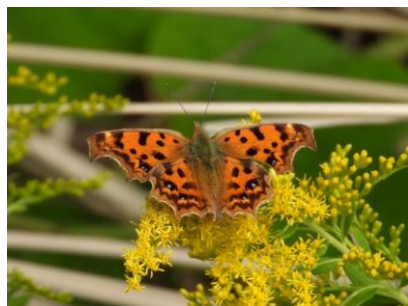
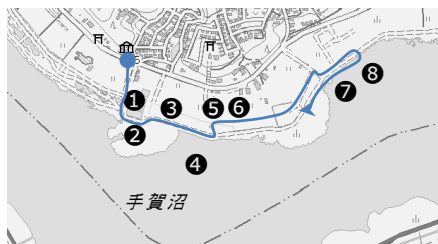
③あちこちでなわばりを主張していたモズ



④沼に飛び込んでボラ? を捕らえたミサゴ



## 歩いたルートと観察した生き物



⑤セイタカアワダチソウの花で吸蜜していたキタテハ (秋型)



⑥あちこちで見られたアキアカネ



⑦エクリプス羽のコガモの雄成鳥



⑧水辺の木に止まって魚を狙っていたカワセミ

## 今月の鳥 ヒヨドリ (スズメ目ヒヨドリ科)

ヒヨドリはスズメ目ヒヨドリ科の小鳥で、灰色の体に長い尾、ぼさぼさの頭の羽毛が特徴です。関東地方では一年中見られる鳥ですが、実は日本国内でも、北日本や高い山で繁殖するものは冬になると温かい地方に移動することが知られています。多くの小鳥の渡りは夜間に行われますが、ヒヨドリの移動は主に晴れた日の午前中に見られます。秋には北から南へ移動していくので、てがたんコースでも、鳥の博物館の裏山や香取神社の林から飛び出して手賀沼の上空を南に渡っていく姿がよく見られます。ヒヨドリの群れにはリーダーがないので、周囲の空気を読み合いながら? 飛び出してもまたすぐに林に引き返す様子はどこかほほえましいものです。秋の渡りは9月下旬ごろから活発になり、11月末ごろまで観察できます。



大きな群れで渡るヒヨドリ